

森のおくりもの5月



オオルリ（ヒタキ科）



とある雨の日の朝、観察センター前の芝生広場にとてもにぎやかなお客様がやってきました。カメラや双眼鏡を構える私たちの前に姿を現したのは、オオルリ、キビタキ、コサメビタキ。同じエリアでこれらの野鳥と出会えることはほとんどないとのことで、みんな大騒ぎでした。何とか写真に収めようとシャッターを切るもピンボケばかり。表紙の写真はたくさん撮った中でピントが合った数少ない一枚です。

この森の豊かさを実感した朝のひとつでした。【写真・文 近藤晋也】

## 森のことは

自然の様子やできごとを四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします

### 『生生流転（せいせいりてん）』

桜に雪という幻想的な光景が見られたり寒暖差があったりして、季節が足踏みしているようでしたが、主役を変えていくように次々と花が咲き、渡って来た夏鳥などがさえずり、芽吹いた木々の葉が輝く眩しい新緑の森になりました。この時期は自然の移り変わりが最も著しく、少し見ない日があると風景が一変していることもあるので驚きます。

この様子に当てはまる言葉を探したところ『生生流転』に目が留まりました。「すべてのものは絶えず生まれては変化し、移り変わっていくこと。物事が止まることなく移り変わっていく」という意味です。また、仏教の死生観を示す「すべてのものが生まれて死に、死んで生まれることを繰り返すこと。形を変えて永遠に変化し続けること」という言葉です。

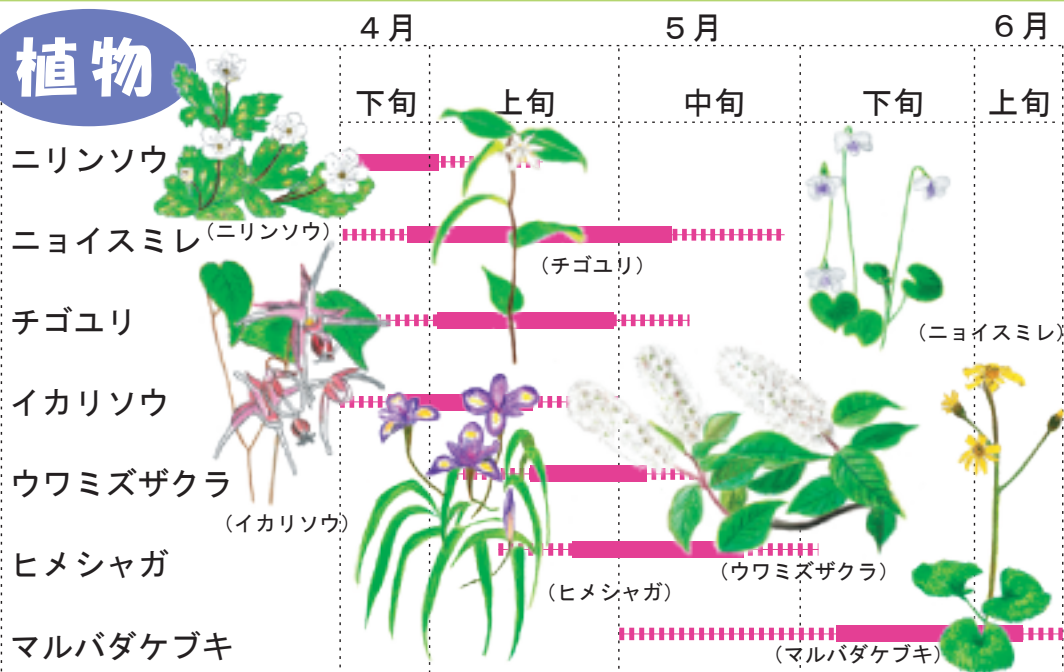
私の好きな芽吹きや花の期間があつという間に終わってしまい、きれいな時は一瞬で過ぎてしまうと寂しく感じましたが、花は咲いて散ったら終わりではなく、種になって次の世代に命のバトンを渡すリレーなのだと思います。この時期の森が眩しいのは、命の輝きで溢れているからなのかもしれません。

元号が平成から令和に変わり、時代も移り変わっていきます。将来、人工知能により無くなる職業もあるといわれます。世の中の変化に対応し必要とされる人間になれるよう、成長し続けていきたいですね。 【レンジャー：新田隆一】



# 5月の生物ごよみ

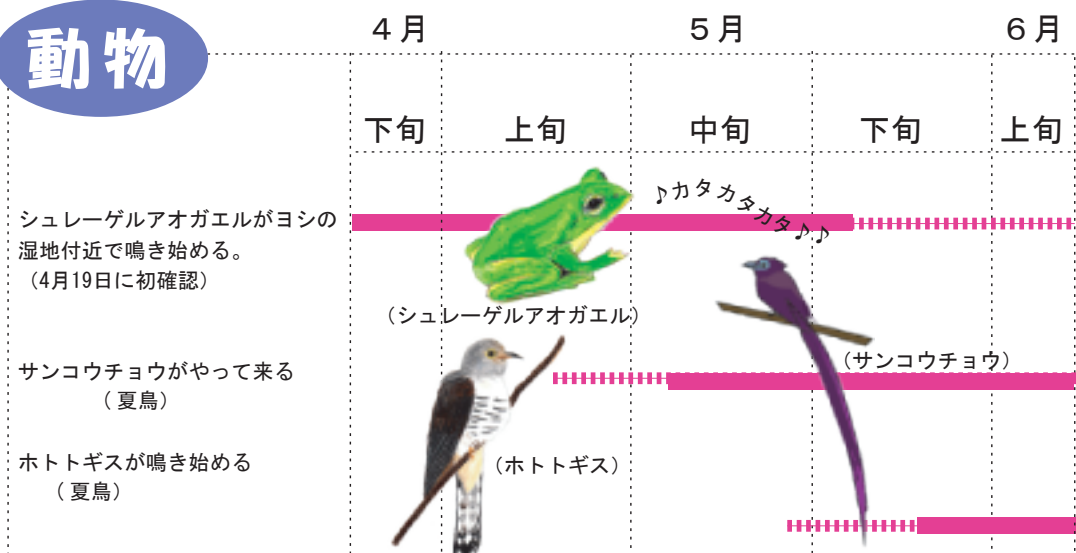
## 植物



4月、5月は植物の開花ラッシュに入り、4月だけでも84種の開花が確認されました。森全体の開花速度は昨年より数日遅いようです。

夏鳥情報としては、イワツバメとセンダイムシクイが4月14日、オオルリとヤブサメが20日、コサメビタキが23日、キビタキが26日に確認されました。

## 動物



【レンジャー：齋 正宏】

※夏鳥 春に東南アジアなどの越冬地から日本に渡ってきて繁殖し、秋には帰っていく鳥。  
日本にいる期間は種類によって違うが、おもに3月～10月の間になる。

# 森の「おとしもの」



## その13 「ちいさなまつぼっくり」

「これ何？」先日のガイドウォークで子供が拾っていたものです。「何だと思う？」ちょっと考えてもらいます。「う～ん…まつぼっくり？」おっ！ナイスな解答いただきました。

これは「ケヤマハンノキ」という木の実。硬い実の隙間に種があります。私も小さな松ぼっくりを連想します。拾ってクリスマスリースの材料にする方もいますね。



ところで君はどうして「ケヤマハンノキ」って呼ばれているの？漢字では「毛山榛の木」です。ハンノキは湿地など地下水位の高い所に生えますが、葉や枝に「毛」があり「山」にも生えるので「ケヤマハンノキ」。じゃ、「ハンノキ」って？由来を調べてみると例によって所説ありますが、稲のはぎ掛け（刈りとった稲を天日乾燥のため干すこと）に利用したことから「梁の木（ハリノキ）」がなまってハンノキとの説が私のイチオシです。

この樹は根粒菌と共生し窒素を固定します。つまり土を肥やすので肥料木として緑化に役立つとのこと、樹皮は草木染できれいなワインレッドの染料にもなるのです。それとミドリシジミの食草です！この小さくて輝くような蝶を今年こそ見たいものです。また食べ物の少ない冬には小さな種がマヒワなど小鳥にはとって大切な食糧になります。よく知らなかった樹木でしたがいろいろな命と深く関わっているのですね。

【レンジャー：木田秀幸】



樹皮が目玉模様で妖怪的！  
と思うのは私だけ？

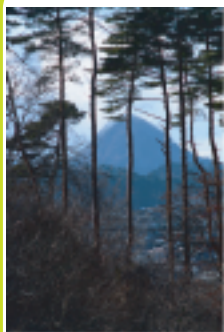


ケヤキの枝先にいるマヒワの雄

## スタッフ変更のお知らせ



春の人事異動にて、館長の早坂に代わり近藤が新館長として着任。レンジャーの黒川が青葉の森へ異動になりました。



この4月から仙台市野草園に勤務しております。急に異動になったため、一部の方にしか御挨拶できなかったのが心残りです。8年ぶりに戻って来たと思ったのもつかの間、わずか3年でまた森を去ることになってしまいました。野草園から太白山が見える度にふもとの森と生き物たち、そこに集う方々のことを思い出しております。今後ともよろしくお願いたします。気が向いたら野草園にもお越し下さい。

ありがとうございました。

【早坂 徹】

この4月より、青葉の森緑地管理センターへ異動になりました。2006年に観察の森へ来て、長いようであつという間の13年でした。その間、少しでも多くの方が「自然大好き」になってくれればと思いつながら仕事をしてきましたが、自然の不思議や楽しさを上手く伝えられていたらいいなあ。まずは、ここで出会えたたくさんの方たちと生き物に感謝を伝えたいです。ありがとうございました。青葉の森にも是非遊びにいらして下さい。

【レンジャー：黒川周子】



この4月から太白山自然観察センターの館長に就任いたしました近藤晋也と申します。ここに異動になる前は仙台市野草園で植物の管理等をしておりました。自然観察の森とのかかわりは、家族で日曜日のガイドウォークに数回参加しただけでしたので、自分にとってはほとんど未知のフィールドです。どのような植物がここで育ち、どのような生き物とここで出会うことができるのか、わからないことや覚えなければならぬことが山ほどありますが、この豊かな森を楽しみながら覚えていきたいと思っています。森の中でお会いした時には気軽に声をかけていただけたらうれしいです。それではよろしくお願致します。

館長 近藤 晋也



# 5月のイベント & お知らせ

## ◆おはよう野鳥かんさつ

・さわやかな初夏の森で野鳥の声や姿を探します。

【日 時】5月11日(土)  
午前6時半～8時



【持ち物】歩きやすい服装、雨具、筆記具  
観察用具(身分証提示で双眼鏡の貸出あり)

※参加申込み不要です。

## ◆はじめて☆バードウォッチング

・バードウォッチング初心者の方向けに、野鳥を楽しみながら観察します。

【日 時】5月18日(土)  
午前10時～11時半



【定 員】15名(10歳以上)

【持ち物】歩きやすい服装、雨具、筆記具、観察用具(身分証提示で双眼鏡貸出)

【申込み】5月6日(月)午前9時～  
電話で(先着)

## ◆草花あそびしよう

・未就学児のお子さんと保護者の方向けの草花遊びを中心とした植物観察会。

【日 時】5月18日(土)  
午後1時半～3時



【定 員】15名(先着)

【持ち物】動きやすい服装、雨具、飲物

【申込み】5月8日(水)

午前9時～電話で

## ◆新緑の鈎取山ハイク

・原始的な自然が残る鈎取山国有林の自然を観察しながら歩きます。

【日 時】5月25日(土)  
午前10時～午後3時

【持ち物】昼食、飲物、雨具(カップ)  
歩きやすい服装と靴

【定 員】20名(先着)

【申込み】5月9日(木)午前9時～  
電話で

毎週

日曜は「ガイドウォーク」の日!

5月のテーマは「輝く若葉のなかで」

5日、12日、19日、26日

10:00～11:30、13:30～15:00開催

26日午前は「館長と森を歩こう」です。

## 森のちいさなアトリエ

準備してある材料を使って、誰でも自由にクラフトが作れます。



4・5月は  
「こいのぼり」



ヤマツツジの丘からヨシの湿地へ通じる橋が老朽化のため、しばらくの間通行止めになります。

## 5月の休館日

7日、13日、  
20日、27日

♪森へおいでください♪

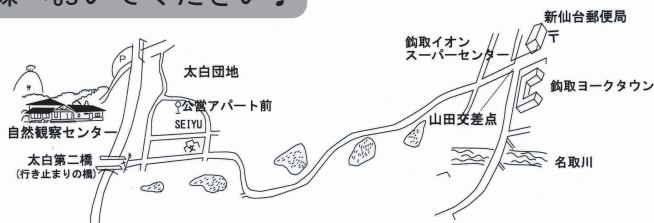
### 宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
- ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
- ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分

【行先】①②③「太白団地経由山田自由ヶ丘車庫行」乗車  
(※③のみ乗車可「太白団地 山田自由ヶ丘経由仙台南ニュータウン行」)  
いずれも宮営アパート前 下車→徒歩15分

### お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。  
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



自然観察の森の最新情報、「森のおくりもの」  
バックナンバーはWebでチェック!

2019年5月号(毎月1回5日発行)

発行:(公財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター  
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

「杜のひろば」URL:<http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>